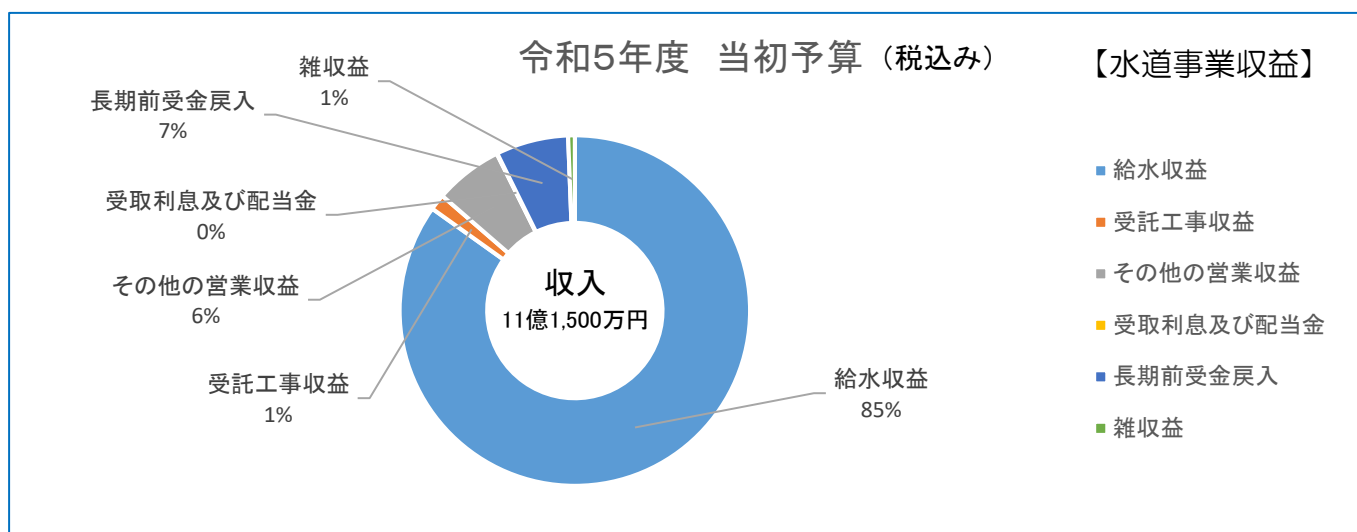


令和5年度 水道事業会計予算について

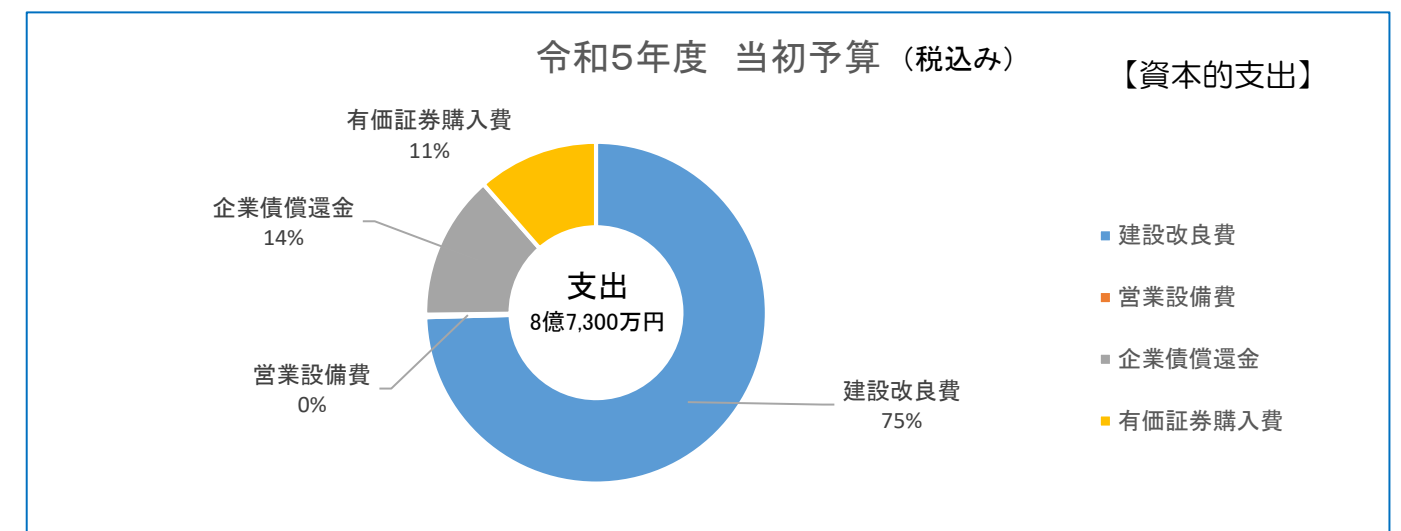
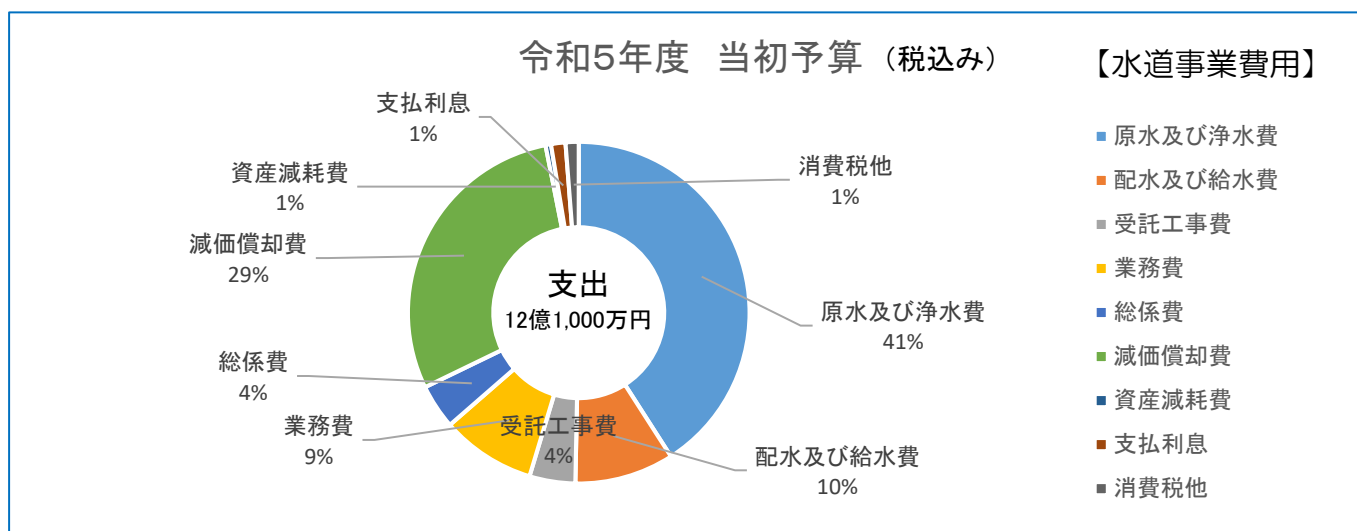
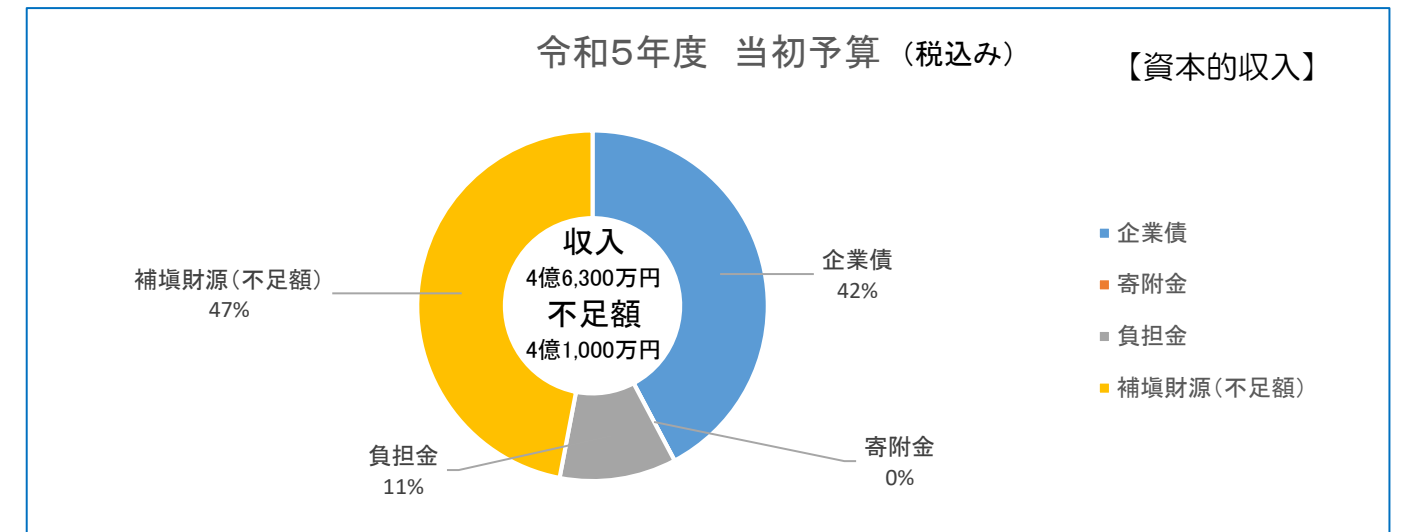
水道・資料 1

水道事業会計の予算は、2つの収支で構成しています。企業会計方式によって会計処理を行う水道会計は、ご家庭に水をお届けすることによって発生する収入と支出を計上する「収益的収支」と、水道施設の整備・建設・改良等の事業を行うことによって発生する収入と支出を計上する「資本的収支」の2種類があります。

ご家庭に水をお届けするための収入と支出 〔収益的収支〕



水道施設を整備・改良するための収入と支出 〔資本的収支〕



収入と支出の差引額は、9,500万円の不足となるため、未処分利益剰余金で損失を補填します。前年度当初予算と比べて、収入は、給水収益（水道料金収入）が3,300万円増加する見込みです。支出は、原水及び浄水費の修繕費、動力費及び県営水道の受水費が7,420万円増加する見込みです。

収入と支出の差引額は、4億1千万円の不足となるため、過年度分損益勘定留保資金や減債積立金、建設改良積立金などの補填財源で補います。前年度当初予算と比べて、収入は、負担金が9千万円増加する見込みです。支出は、建設改良費が1億4,800万円増加する見込みです。